



らく 楽

しょう 笑

こう 幸

れい しゃ 齢者

になろう!

表彰式の様子



2月10日に表彰式を行いました。表彰式後には、当センターの介護予防教室で講師となっていた奥州市レクリエーション協会会長の千葉正道先生を招いて、介護予防レクリエーションを行ったり、介護予防サポーターの皆さんが大槌ぴんころ体操の実演をし、会場の皆さんと一緒に体操したりしました。

クラフトバンド、絵手紙、かな書道の展示も多くの方にご来場し鑑賞いただきました。ありがとうございました。



介護予防レクリエーションの様子



大槌ぴんころ体操の様子

地域包括支援センター運営協議会長賞 【元持 幸子】

町長賞 【祝田 シツ子】

八十路過ぎ 私の自慢 顔の皺 命をかける おばあちゃん

優秀賞 【岩間 美由紀 (大槌高校二年)】

最優秀賞 【元持 弘子】

一般部門 【中嶋 幹夫】

小中学生部門

平成29年11月17日〜12月11日の期間で「我慢」をテーマに介護予防川柳を募集しました。小中学生部門465点、一般部門271点、合計736点のご応募をいただきました。多くの皆様のご協力ありがとうございました。厳正な審査の結果、左記の作品が入賞されました。(敬称略)

第六回 大槌町鶴亀仙(川)柳コンクール結果発表

教育長賞 【黒澤 心結 (大槌学園五年)】

冬が来た じいちゃんがんば アワビとれ!

優秀賞 【見玉 尚汰 (大槌学園九年)】

最優秀賞 【北田 琥太郎 (吉里里学園一年)】

一般部門 【三持 弘子】

【お申込み・お問い合わせ先】大槌町地域包括支援センター TEL 0193-42-8716

平成28年度 大槌町鶴亀仙(川)柳コンクール 女性最年長者作品紹介 (一般部門95歳) 幼稚園 ランドセル詰め襟と思ひめぐれど 孫まだ三ツ (石井 スミさん)

小中一貫教育だより

城山の風

大槌のすべての子に豊かな「育ち」と確かな「学び」を



大槌町学校保健会講演会 ハッピー子育てのヒント

大槌町学校保健会(会長藤井敏司さん)主催の講演会が大槌学園で開催され、保護者や先生方70名ほどが参加しました。

この講演会は毎年開かれ、健康安全や子育てをテーマに学び、実践のヒントを共有しようとするものです。

今回は、日本協会の高橋昭三さんを講師に「イライラしないハッピー子育て!〜アンガーマネジメントを上手に活用〜」と題してお話を聞きました。

「最近子どものどんな言動にイライラしたり、怒りを感じますか」の問いかけで始まった講演に、参加者は「ウン、あるある・・・」「あれはまずかったなあ」とうなずきながら聞き入っていました。

6秒ルール

怒りの感情のピークは長くて6秒

怒りを感じたとき6秒待って気持ちを静める 反射しないこと→時間とともに忘れることができる



このほかにも怒りをコントロールするいくつかの方法が紹介されました。

- *ストップシンキング ムツとしたとき、頭にきたときに、その空洞に「考えるな、ストップ、止めておけ」と自己暗示をかける
*深呼吸(4・7・8) 鼻から4秒間行息を吸う、7秒間止める、8秒間かけて口から吐き出す
*カウントバック 6・5・4・3・2・1と逆から数えて6秒間をやり過ごす

ユーモアを交えながらの楽しいお話でしたが、誰もが経験したほろ苦さに納得でした。

ちなみに、怒りの単位を「イラッ」と名付け、1〜10の尺度で振り返ってみるのも1つの手とか。

「いつまでゲームやってんのっ!」は8イラッと?

小中のつなぎをなめらかに! 吉里吉里学園で一日中学部体験

もうすぐ入学や進級の時期を迎えます。どの子も期待と不安の入り交じった時間を過ごすことになります。

吉里吉里学園では、中学部で1日生活することで生活の様子を知ったり、授業の体験を通して学習への心構えを持ったり、先輩との交流で中学部への期待感を高めました。

生活はすべて中学部の時程に合わせて行われました、

- 登校 8:05
朝読書・短学活 8:10
1校時 授業参観
2校時 社会
3校時 数学
4校時 保健体育
給食・清掃
5校時 英語
進級説明会



いわゆる「中一ギャップ」の解消は小中一貫教育の1つのねらいでもあります。吉里吉里学園では小中の密接な連携のもとに効果をあげています。

- 先輩たちの姿を見て、先生が話している時は私語がなく、みんな真剣に聞いていてすごいと思った。中学部に進級したら挨拶や返事をがんばりたい。
●中学部の先生は、楽しくて授業がわかりやすい。先輩たちは自分の意見をしっかり持って発言していた。個人で身につけたいのは授業中の姿勢を意識したい。
●中学部の勉強や雰囲気があったし、先生の勉強の進め方が分かった。自分で意識したいことは呼名へのあいさつや返事をしっかりすること。

スクールバスの安全運行にご協力を!

現在、大槌学園学区で通学のためのスクールバスを10路線で10台運行し、230名が利用しています。登下校の運行時間帯と通勤時間が重なることから一層の安全運行が求められ、教育委員会と委託業者、学校の3者では、毎月定例の連絡会を持ち、さまざまな情報を共有し日々変化する交通事情に対応しています。また、バス全車にドライブレコーダーを取り付け、安全確認と安全意識の向上を図っています。今後とも、安全運行に対し町民の皆さんのご協力をお願いいたします。